

2018年12月号

12月15日(土)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

# 月刊 温根内通信 No. 267

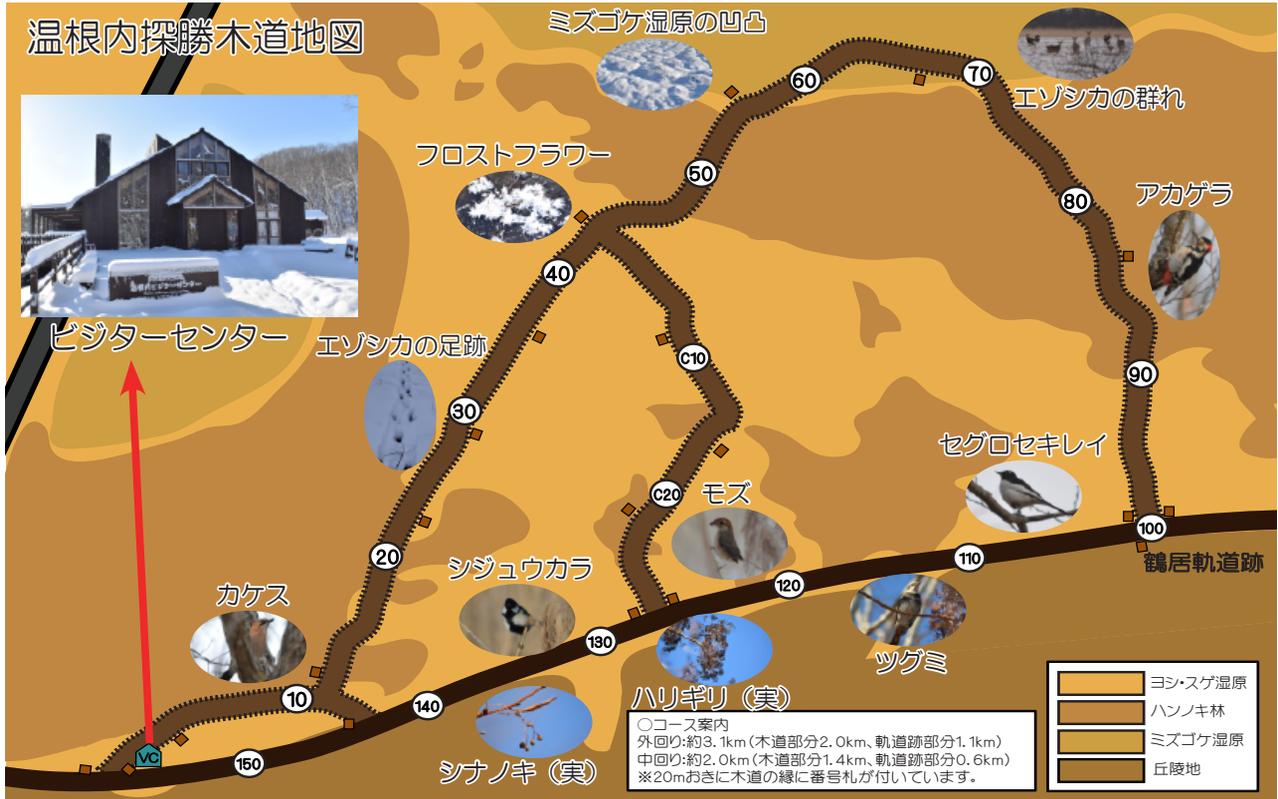


## 静寂の湿原 耳を澄ますと…

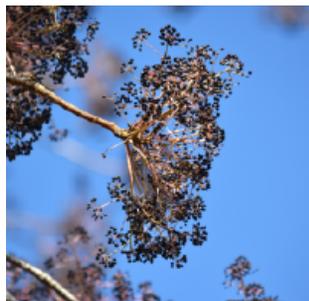
釧路湿原は全面、雪景色へ。

雪が覆うと、積雪が空気の振動を吸収して、シンと静まり返ったような感覚になります。そんな静寂の中に耳を澄ませると、「コ・コ・コン…」と軽快に木を突く音が聞こえてきます。アカゲラが枯れ木に巣作りを始めていました。でも、少し気が早いのでは…？

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の自然～



【ハリギリ (実)】  
ウコギ科 針桐  
鶴居軌道などに見られる背の高い樹木で、今年はこの実が目立っています。紫色の実が房状につき、野鳥たちが好んで食べています。



【シナノキ (実)】  
アオイ科 科の木  
複数の実をつけた基部にある苞と呼ばれる葉が残り、これがプロペラのような役割をして落下する際に種子を遠くへ飛ばします。



【ヤチダモ (実)】  
モクセイ科 谷地榊  
こちら今年も実が豊作で、枝先に房状に垂れ下がっています。ヤチダモは木材としても用途があり、家具などに加工されます。



【エゾシカの足跡】  
シカ科 蝦夷鹿  
雪が積もると最もよく目につく動物の足跡です。湿原の至る所に跡がついており、かなりの数が歩き回っているのがわかります。



【ミズゴケ湿原の凹凸】  
新雪がうっすら覆うと湿原本来の形状がわかりやすくなり、ミズゴケ湿原は凹凸が際立ってきます。植生の発達段階の違いでこのような地形が生まれます。



【クジャクチョウ】  
タテハチョウ科  
VCの周りに積んである薪の隙間に越冬中の成虫がいました。冬はこの状態でじっと耐え、春になるといち早く動き出します。

○表紙の写真 上：新雪のヨシ・スゲ湿原 中右：雪の地面に落ちたヤチダモの実 中左：アカゲラ 下：ツグミ

## ～温根内探勝木道周辺の野鳥～

この1ヶ月で一気に白銀の景色へと変わった釧路湿原。確認できる野鳥の種数は少ないですが、この時期しか見られない野鳥が出現する可能性もあります。双眼鏡を使って上空や樹木の上などをくまなく見てみると、オオワシ・オジロワシといった大型の野鳥や、木の実をついばむツグミやマヒワといった野鳥も見られるかもしれません。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸出しております。お気軽に職員までお申し付けください。



【セグロセキレイ】 夏鳥  
(一部越冬) セキレイ科  
鶴居軌道の凍らない湧き水で採餌しています。毎年この時期にやって来るので、同じ個体なのかもしれません。日本の固有種です。



【カケス】 留鳥(漂鳥)  
カラス科 懸巢  
セグロセキレイと同じような時期に温根内にやってきます。他の鳥の鳴声を真似することも。北海道のカケスは亜種ミヤマカケス。



【シジュウカラ】 留鳥 シジュウカラ科 四十雀  
左の写真にシジュウカラが何羽隠れているか、わかりますか?今年豊作のハリギリの実をついばんでいます。他のカラ類の混群に紛れていたり、シジュウカラだけで群れを作っている時もあります。1羽見つけたらその周りも探してみましょう。



正解は4羽!

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥(11月15日～12月14日) 和名は日本鳥類目録第7版の順  
■オオハクチョウ■タンチョウ■トビ■オジロワシ■オオワシ■ノスリ■コゲラ■オオアカゲラ■アカゲラ■モズ■カケス■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ヒヨドリ■エナガ■ゴジュウカラ■キバシリ■ツグミ■セグロセキレイ■アトリ■カウラヒワ■マヒワ■シメ

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いいたします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いいたします。

## ☆☆☆☆ 自然ふれあい行事が開催されました ☆☆☆☆

◎「地形を見て歩く! 湿原探検」11月18日 参加者: 24名

温根内とその周辺の「地形」に焦点を当て、普段とは少し違った視点で木道を散策する会を行いました。低い視点・高い視点から見た地形を意識しようというテーマを設け、館内の立体展示を用い現在位置と周辺の地形の概要を説明してから散策をスタートしました。まずVCを出てからすぐ見られる、湿原の代表的な微地形であるやちまなこ、やちぼうずについて、名前の示す意味やそのでき方について解説がありました。この日は天候にも恵まれ、北方にそびえる阿寒の山並みがよく観察でき、普段あまり注目しない湿原から見える山の地形についても触れることができました。



途中には地形と生物にまつわるクイズなども設け、参加者はとても楽しめた様子でした。散策後も質問が飛び交い、充実した散策会となりました。

今年で2回目となる当散策会も多くの参加申し込みがあり、昨年からの引き続き地形や地質、地理といったワードに一般の方たちが敏感に反応していることが大変よくうかがい知ることのできる会となりました。(講師: 藤原伸也)



◎「クリスマスリースを作ろう」11月25日 参加者：17名

クリスマスを一か月後に控え、恒例のクリスマスリースを作るイベントをレクチャールームにて行いました。講師の甲斐氏（リース創作研究家）から最初に簡単な説明があった後、事前に作製したリースの土台を各自で一つ選び、そこに松ぼっくりやドライフラワーなどの自然素材のほか、各種のクリスマスオーナメントを飾りつけていきました。参加者各自が自宅で飾るものなので、何より自身の感性を最優先に制作し、困った時にだけ講師に相談する、ということでリース作りは進行していきました。今回がリース作り初体験という人もいましたが、講師やベテラン参加者の助言もあって最後には要領を掴めたようでした。2時間という楽しい時間はあっという間に過ぎていきましたが、参加者は皆、思い思いの工夫を凝らして各自満足のいくリースを完成させることができた様子でした。皆さんどうぞよいクリスマスをお迎えください。



講師に相談する、ということでリース作りは進行していきました。今回がリース作り初体験という人もいましたが、講師やベテラン参加者の助言もあって最後には要領を掴めたようでした。2時間という楽しい時間はあっという間に過ぎていきましたが、参加者は皆、思い思いの工夫を凝らして各自満足のいくリースを完成させることができた様子でした。皆さんどうぞよいクリスマスをお迎えください。



◎「冬の植物を見に行こう」12月9日 参加者：8名

花も葉も枯れ、一見して荒涼とした釧路湿原周辺で植物たちがどのような工夫をして命を繋いでいこうとしているのかを探る、植物観察会を行いました。まず鶴居軌道沿いを歩いていると、今年の特徴としてハリギリやヤチダモの実がとても目立っていました。地面にたくさん落ちていたヤチダモの実を見るとプロペラ状の形をしており、滞空時間を長引かせて遠くまで分布を広げる工夫がなされているのがよくわかりました。背の高い木々に対しては双眼鏡を使って観察し、この一帯でおなじみのハンノキやケヤマハンノキには、早くも枝先に雄花・雌花がはっきりわかる花芽がついているのがわかりました。これらには今年付けた実もまだ残っており、1本の樹木の中で新旧が入り替わりつつある様子もうかがえました。また、種ごとに特徴が異なる樹木の冬芽も観察でき、冬期間の樹木種の判別手段としてこの冬芽というものも判断材料になることも学びました。数日前に降った大雪で一面真っ白になった温根内でしたが、動物の足跡なども多く残されており、植物だけでなく動物たちの冬を乗り越えるための営みも垣間見ることができた1日でした。（講師：藤原伸也）



は、早くも枝先に雄花・雌花がはっきりわかる花芽がついているのがわかりました。これらには今年付けた実もまだ残っており、1本の樹木の中で新旧が入り替わりつつある様子もうかがえました。また、種ごとに特徴が異なる樹木の冬芽も観察でき、冬期間の樹木種の判別手段としてこの冬芽というものも判断材料になることも学びました。数日前に降った大雪で一面真っ白になった温根内でしたが、動物の足跡なども多く残されており、植物だけでなく動物たちの冬を乗り越えるための営みも垣間見ることができた1日でした。（講師：藤原伸也）

☆☆☆☆☆イベントのご案内（1月）☆☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み ☎ 0154-65-2323

♪湿原アニマルトラッキング

〔日時〕1月13日（日）10:00～12:00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター

雪の上の足跡や、あちこちに残る痕跡から、湿原周辺の動物の行動と暮らしについて考えます。長靴と十分な防寒着をご用意ください。

～本年もお世話になりました～

今年も大変お世話になりました。来年も温根内ビジターセンターをどうぞよろしくお願ひいたします。

＜年末年始休館のお知らせ＞

12月29日（土）～翌年1月3日（木）上記期間中はトイレもご使用になれませんのでご注意ください。遊歩道は24時間開放しております。

月刊 温根内通信 No.267

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185

E-mail：ovc@hokkai.or.jp

ホームページ：http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/

Facebook：温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間：9:00～16:00（4月～10月は17:00まで）

休館日：毎週火曜日（12/29～1/3は休館）入館無料